



サイクリングコンピューター BCP-01, BCP-02, BCP-03

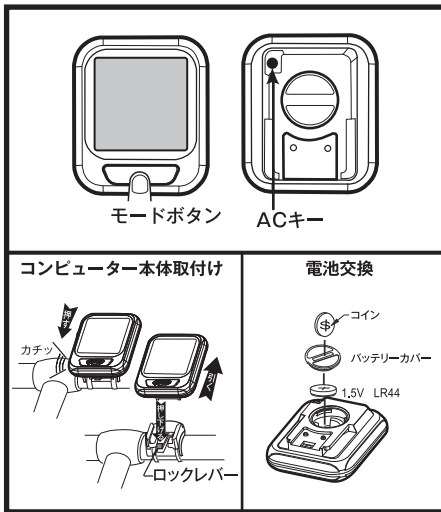
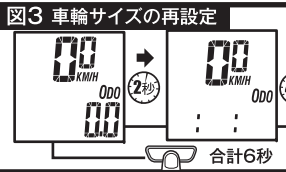
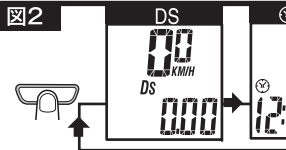


図1 コンピューター本体の設定



車輪サイズの設定 (単位の選択と車輪周長の設定)

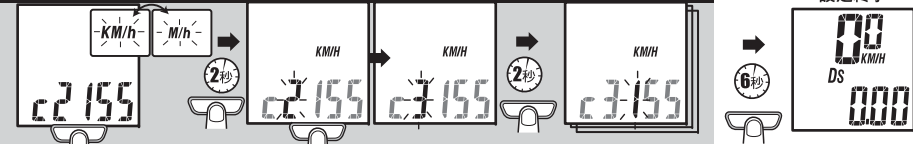


図5 車輪周長の測り方

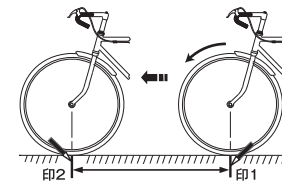


図6 車輪周長早見表

タイヤサイズ	車輪周長	タイヤサイズ	車輪周長
18 インチ	1436 mm	ATB26x2.0(650B)	2099 mm
20x1.75	1564	700C チューブラー	2117
20 インチ	1596	700x20C	2092
22 インチ	1759	700x25C	2124
ATB 24x1.75	1888	700x28C	2136
24 インチ	1916	27インチ(700x32c)	2155
24x 13/8	1942	700x35C	2164
ATB 26x1.40	1995	700x38C	2174
ATB 26x1.50	2030	27.5 インチ	2193
ATB 26x1.75	2045	28 インチ(700B)	2234
26インチ(650A)	2073	28.6インチ	2281

- BCP-01 6機能: SPD, CLK, DS, ODO, SCAN, AS/S
- BCP-02 9機能: SPD, CLK, DS, RT, AS, MS, ODO, SCAN, AS/S
- BCP-03 11機能: SPD, CLK, DS, RT, AS, MS, TRT, ODO, SCAN, SPEED PACER, AS/S

- 機能**
- SPD: 走行速度** 0.0~199.9km/hまたは120.0Mile/h +/-1%
走行中は常に4桁で表示されます。
 - CLK: 12時間表示** 1:00:00~12:59:59 +/-0.003%
12時間表示で現在時刻を表わします。
 - DS: 走行距離** 0.00~199.9kmもしくはMiles/h +/-0.1%
走り続ける限り最後のリセットから累積します。
 - RT: 走行時間** 0H 00M 00S~19H 59M 59S
最後にリセットしたときからの時間が合計されます。
 - AS: 平均速度** 0.0~199.9km/hもしくは120.0Mile/h +/-0.1%
1. 走行距離を走行時間で割ったものから算出されます。平均速度は最後にリセットしたときから現時点までのデータをもとにしています。
2. 走行時間が100時間を越えるか、走行距離が1,000km (またはマイル) を超えたととき "Er" が表示されます。再開するにはリセットしてください。
 - MS: 最高速度** 0.0~199.9km/hまたは120.0Mile/h +/-1%
最後にリセットしたときから一番早い速度が表示されます。
 - TRT: 合計走行時間** 0H 00M~1999H 59M
最後にオールクリアしたときからの走行時間が合計されています。
 - ODO: 積算走行距離** 0.0~19999.9kmまたはMiles +/-0.1%
自転車走っている限り積算され、オールクリアされたときにのみ消去されます。
 - SCAN: スキャン**
 - 1. オートスキャンディスプレイモード
モードボタンを「SCAN」マークが表示されるまで押し続けます。コンピューターが6秒ごとに順番にDS, CLK, RT, AS, MS, TRT, ODO画面を自動的に順番に表示していきます。
 - 2. 表示画面の固定
モードボタンを押して「SCAN」マークを消し、表示したいモードを選びます。オートスキャンは停止し、表示したいモードに設定されます。
 - 歩行モード**
走行速度が平均速度より速い場合は「歩」、遅い場合は「遅」が点滅します。

コンピューター本体の設定 (図1)

コンピューターの初期化

- 誤作動防止のため、初めてお使いになる際や、電池を交換した後はオールクリア (AC) キーを押してすべての保存データを消去してコンピューターを初期化してください。
- オールクリアキーを押した後に自動的にLCDテストが開始されます。
- モードボタンを押してLCDテストを終了すると、km/hとc2155が表示されます。

車輪サイズの設定

- 単位の選択
 - モードボタンを押して、「KM/h」もしくは「M/h」(Mile/h)を選びます。
 - 点滅している桁がc2155の「2」になるまでモードボタンを押し続け、KM/h(km/h)またはM/h(マイル/時)どちらかを認識させます。
- 車輪周長の設定
 - 初期設定は2,155mmになっています。図5のように車輪周長を測るか、図6の早見表を参照ください。
 - モードボタンを押すと、点滅している数字を進めることができます。
 - モードボタンを押し続けると点滅が次の桁に進みます。

ボタン操作

オートスタート/ストップ [AS/S]

- コンピューターは自動的に走行速度、積算走行距離、走行距離、最高速度、合計走行時間、走行時間、平均速度を走行中に測定します。
- 「AS/S」マーク点滅はコンピューターが起動中であることを示します。

パワーオフ オン/オフ

電池消費を防ぐため、10分間使用されない自動的にコンピューターはオフになります。走行を開始するか、ボタンを押せば自動的にオンになります。

モードボタン

押すたびに基本機能画面が順番にかわります。
オールクリア操作 (コンピューターの初期化)
異常なデータが表示されるようでしたらオールクリア (AC) キーを押してコンピューターを初期化してください。すべての保存されたデータが消去されます。

リセット操作

LCDに何も表示されなくなるまでモードボタンを押し続けた後離すと、走行距離、走行時間、平均速度、最高速度はリセットされます。時計と走行時間合計、積算走行距離はリセットされません。

車輪サイズの再設定 (図3)

LCD画面を積算走行距離画面に変更し、モードボタンを押して (およそ6秒間) 車輪サイズの設定画面に移動します。コンピューター本体設定手順に進み、車輪周長を調整します。モードボタンを押して (およそ6秒間) 車輪サイズの再設定に移動して設定したいデータを保存し、車輪サイズの再設定を完了します。

時刻の設定 (12時間表示) (図4)

- LCD画面を時計画面「時」に変更します。
- モードボタンを押して (およそ6秒間) 時計設定画面に移動します。
- モードボタンを押すと点滅している桁が1つ進みます。
- 点滅している桁を変更するには、モードボタンを次の桁に移るまで押し続けます。
- モードボタンを押して (およそ6秒間) 設定したい時刻を保存し、時計設定を終了します。

電池交換

- LCD表示が薄くなったら、電池がほぼなくなっていることを意味します。
- 本体裏側にあるバッテリーケースの電池を新しいLR44に交換してください。電池 (+) 側がバッテリーカバー側になります。

問題点のチェックと解決方法

修理に出す前に下記をご確認ください。

問題	確認事項	解決法
表示されない	1.電池はなくなっていないですか? 2.電池は正しく装着されていますか?	1.電池を交換してください。 2.電池の (+) 側がバッテリーカバー側にきていることを確認してください。
走行速度が表示されない	1.車輪サイズの再設定もしくは12時間時計設定画面になっていませんか? 2.コンピューター本体とブラケットの接点「が」が甘くなっていませんか? 3.センサーとマグネットの位置関係は正しくなっていますか? 4.ワイヤーが切れていませんか? 5.車輪周長は正しく設定されていますか?	1.調整を終了してください。 2.接点をきれいに拭いてください。 3.図1を参照ください。D1 (別冊ワイヤー取り付け説明書参照ください) のように正しく再調整してください。 4.ワイヤーを交換してください。 5.車輪サイズを確認して正しい数字を設定してください。
異常が表示される	コンピューター本体設定を参照してコンピューターを初期化してください。	コンピューター本体設定を参照してコンピューターを初期化してください。
LCDが真っ黒	コンピューター本体を乗っていない時に直射日光の下に長くさらしていませんか?	通常の状態に戻るまでコンピューター本体を日陰に移してください。データに影響はありません。
表示が遅い	気温0度以下のところにありませんか?	気温が上がりればもとに戻ります。

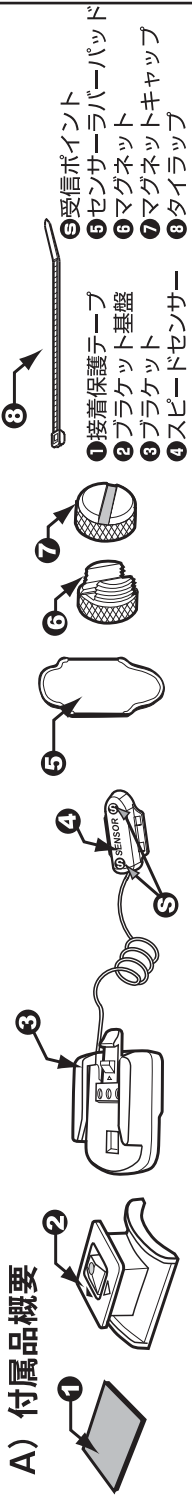
安全上のご注意

- 本製品は雨でも使用可能ですが、水の中につけないでください。
- 自転車をご使用されていないときにコンピューター本体を直射日光にさらさないでください。
- コンピューター本体および付属品を解体しないでください。
- センサーとマグネットの位置関係を定期的に確認してください。
- ブラケットの接点とコンピューター本体下部は常にきれいにしておいてください。
- シンナー、アルコール、ベンジン等で本体および付属品を拭かないでください。
- 道路走行中は細心の注意を払ってください。

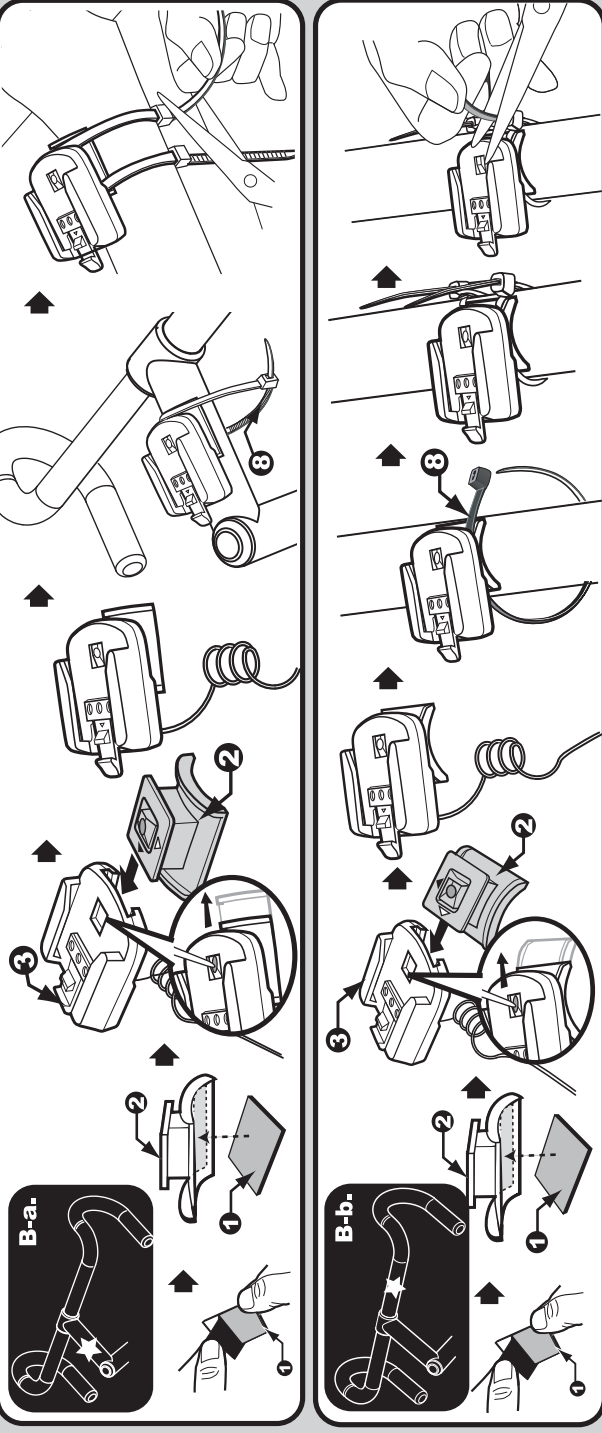


Wired ワイヤード 取り付け方法

A) 付属品概要



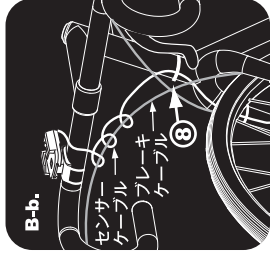
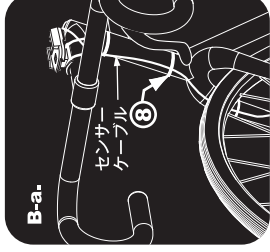
B) ブラケットの取り付け



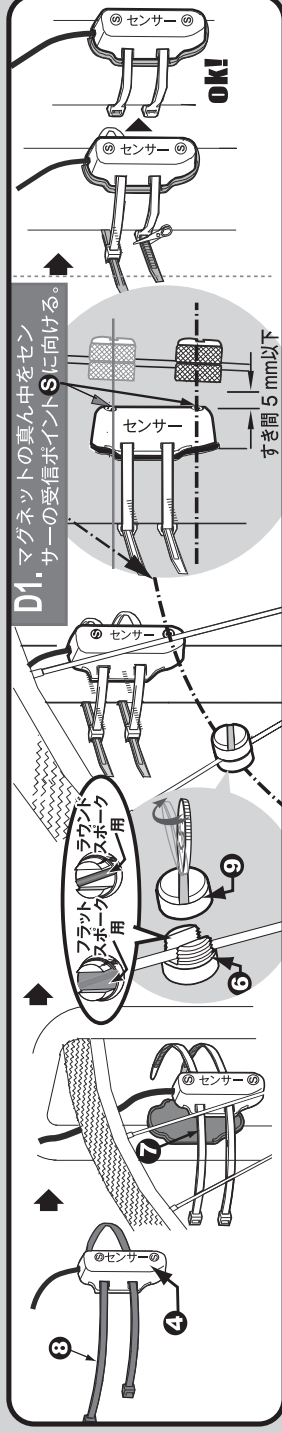
1. ブラケット③は90° 偏角のブラケット基盤②で、ステム (B-a) またはハンドルバー (B-b) どちらでも取り付け可能です。
2. タイラップはコンピューター本体を取りはずした時にキズがつかないように余分な部分は切ってください。

C) センサーケーブルの取り付け

1. フォークへの適正な取り付け位置を確認し、タイラップでとめてください。
2. タイラップでとめる前に、ハンドルバーを回してもケーブルに余裕があるか確認してください。
3. フォーククラウン近くにある余分なケーブルはフロントブレーキケーブルの周りに巻きつけ、前後に曲げてタイラップでとめてください。



D) スピードセンサーの取り付け

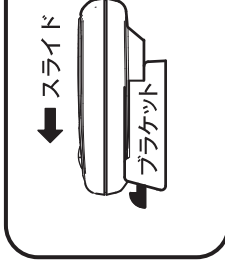


スピードセンサーとマグネットの取り付け

1. スピードセンサーを2本のタイラップでラバーパッドと一緒にフロントフォークに取り付けます。スピードセンサーの表をスポーク側に向け、正しい位置にあることを確認してからきつく締めてください。
2. マグネットをセンサーの受信ポイントのSマークに向け、前輪のスポークに取り付けてください。
3. スピードセンサーとマグネットの位置関係を調整してください。
a) マグネットの真ん中をセンサーのどちらかの受信ポイントSにあわせてください。マグネットとセンサーの距離を動かして調整してください。
重要：a) もしくはb) が正しく行われていないと、受信能力が弱くなります。
4. すべての位置関係が正しくなったら、動かさないようにケーブルをしっかりとりとめてください。
5. 取り付けが完了したら余分なタイラップを切ってください。

E) コンピューター本体の取り付け

1. ブラケットにコンピューター本体をかざすと音がするまでスライドさせて設置します。
2. ブラケットはロックレバーつきで走行中にはずれないようにコンピューター本体を固定します。
3. はずすときには、ブラケットのロックレバーを押しコンピューター本体を前にずらすはずします。



このロックレバーを押し下げてからコンピューター本体を取り外してください。